

盛岡の魅力、伝えます！

地域おこし協力隊

市では、令和6年12月時点で12人の地域おこし協力隊が関係人口※の創出や地域の活性化などに取り組んでいます。今回はそのうち3人にインタビューしました。

【問】企画調整課 ☎626-7534

※「関係人口」とは、特定の地域に継続的に多様な形で関わる人々を指す言葉です



趣味のトレイルランで、着任前も盛岡には何度も訪れていました。体を動かすことの大切さや楽しさを伝えたいです！



早川 克 隊員（3年目）

宮城県松島町出身。活動テーマは「『スポーツ』による盛岡広域圏の賑わい創出」。スポーツイベント取材の他、スポーツ指導者などの経験を生かし、スポーツイベントの企画など、スポーツを通じた盛岡広域8市町の魅力発信や賑わい創出に取り組む。

スノーボードが好きで、盛岡を起点にさまざまなスキー場を楽しんでいます。皆さんと一緒に冬の運動不足を解消したいです！



結城 千晴 隊員（3年目）

神奈川県横浜市出身。活動テーマは「健康づくり習慣化の推進及びスポーツによる盛岡市の魅力発信」。主に健康づくり活動の周知や活動に関わる人のマッチングなどに取り組む。

外山節の動画は、脈々と受け継がれる地域の営みや歴史を伝える気持ちで作りました！



佐々木 亨 隊員（3年目）

盛岡市出身。活動テーマは「極寒天国（しばれすとパラダイス）・薮川地域をもっと稼げる地域に！」。薮川地域特産のそばや伝統文化である外山節の魅力発信などを通じて、薮川地域の魅力発掘と交流人口の拡大による地域経済の活性化に取り組む。

「地域おこし協力隊」って？

都市部の人材を地方の新たな担い手として受け入れ、地域を活性化するための活動などに取り組みながら定住・定着を図る制度です。任期は原則3年。新規隊員、募集中です。

ーどのような活動をしていますか？



SNS（交流サイト）を使った盛岡広域圏のイベントの情報発信などに力を入れています。また、昨年度からは自転車でさまざまな景色を楽しめるサイクルルートづくりもしています。元々スポーツ関係の仕事をしていたので、その楽しさを皆さんにも体験してもらいたいですね。



ー思い出のエピソードを聞かせてください。



e-BIKE（電動アシストがついたスポーツタイプの自転車）で岩手山周辺をほぼ一周走ったことです。普段見慣れた景色も車と自転車では見え方が違うのを実感しましたね。その土地の空気を直に感じるのも楽しいですし、サイクリングして地域の美味しいものを食べるのも格別です。



ー今後の目標は何ですか？



例えば、スキーができなくてもスキー場で楽しめるイベントなども企画してみたいです。盛岡は夏も冬もスポーツを楽しめる環境ですし、プールやスケートリンクなど1年を通して使えるさまざまな施設があるので、多くの世代がスポーツに親しめるように取り組んでいきたいです。スポーツを楽しむ人の裾野を広げたいですね。



スポーツ施設やJICA（国際協力機構）で水泳を教えていたことから健康づくりに関心を持ち、市の健康づくりアプリ「MORI-WALKER」を活用したウォーキングイベントなどをしています。親子で参加いただいて、楽しみながら健康づくりもできると好評ですね。働き盛りの世代ほどなかなか健康づくりに時間を取れないところもあるので、仕事終わりに体を動かすイベントにも取り組みました。



盛岡ゆうゆう大学の講演で、高齢者の皆さんに活動について話をした際、すぐ熱心に聞いてくれたのがうれしかったですね。一緒になぞなぞを考えたり、体を動かしたりしました。少しの運動でも健康づくりにつながることをさまざまな世代の人に伝える機会となり、とても良い経験になりました。



着任してから、冬になるとどうしても体を動かす機会が減るのが気になっていました。寒くて外に出られなくても、家の中でできる運動やスキマ時間でできる運動の大切さを伝えていきたいです。そして、情報発信するだけでなく、私自身も皆さんと一緒に頑張って動きたいと思います！



薮川地域のポテンシャルを引き出すという視点で、特産物や伝統文化の魅力発信の他、企業誘致の可能性や地域の交通事情の将来も見据えて、さまざまな企業や他自治体との意見交換などしています。地域の皆さんにできるだけ負担をかけずに、営業する店舗の収益につながることで、域外の人に地域の魅力を知ってもらう、興味を持った人と地域がつながる仕掛けをつくることを活動の軸にしています。



薮川のそばの魅力を伝えるスタンプラリーイベントを無事に継続開催できたのがうれしかったですね。地域全体でそばの魅力を伝える機会はこれまでなかったので、地元からも大変好評でした。これを今後も継続するために関係機関と何度も話し合い、そのめどをつけることもできました。今ある魅力にさらに新しさを加えて積み重ねていく、継続していくことが地域のエネルギーになると感じましたね。



地域の活力につながる取り組みを大切にしたいです。薮川地域には外山節という伝統的な民謡がありますが、外山神社を訪れる観光客がYouTubeで気軽に閲覧できるように、案内板に二次元コードを設置しました。今後も、地域の魅力に新たなアイデアを加えて価値を高めていきたいですね。



今月号の「もりけんに挑戦」はお休みしました

広報もりおかへのご意見をお待ちしています
アンケート専用フォームから、特集や各記事への意見をお寄せください。あなたの意見が広報もりおかを育てます。



編集後記

お店ごとの味の違いを食べ比べると楽しいべんじえもの。体重計に向き合うのが怖い時期ですが、自分好みの味を求めてお店巡りをしたいと思います。（高橋）

地球環境に配慮したインキを使用しています。